

1. 科目名 (単位数)	音楽実践演習 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP1145						
2. 授業担当教員	松本 岳志								
4. 授業形態	演習、講義, 実技	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「音楽」を終了していることが望ましい。								
7. 講義概要	「音楽」で学んだ基本的な音楽理論 (楽典、和声法)、鍵盤楽器の基本的奏法を駆使して、より実践力を高めるための演習を行う。「音楽」では、演奏するために必要な知識や技術を実践を通して学ぶが、「音楽実践演習」ではさらに発展的に様々な曲を学ぶことで技術を確かなものにする。また、たとえ鍵盤楽器の経験があっても、子どもの歌を弾き歌いするなど保育実践に必要な演奏力の育成のために全学生が履修する必要がある。読譜力を養うと同時に歌を歌うための発声法を学ぶ。「音楽Ⅱ」で学ぶリズム活動など保育現場での音楽活動に関わる演奏に発展する、保育実践に焦点を当てた演奏力を身につける。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽理論を理解し読譜ができる。 2. 弾き歌いをするための演奏力を身につける。 3. 歌うための発声を習得し、歌うことができる。 4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回ピアノの練習課題等を出します。 2. ピアノ演奏および弾き歌いの発表を実施します。 3. コードネームを参考にしながら、オリジナルの伴奏譜を作成する。 								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】「音楽」と同じ教科書を継続して使用する。</p> <p>【参考書】・小林美実・井戸秀和『いろんな伴奏で弾ける選曲こどものうた 100』チャイルド本社。 ・小林美実監修『こどものうた 200』チャイルド本社。 ・小林美実監修『続こどものうた 200』チャイルド本社。</p> <p>【教材】 ※各自で必ず購入しておくこと。 ・ヘッドフォン ・6.3mmステレオジャック (先端が3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要)</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽理論を理解し読譜ができるか。 2. 弾き歌いをするための演奏力を身につけたか。 3. 歌うための発声を習得し、歌うことができるか。 4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができるか。 1 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> <tr> <td>2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか、本学規定に定められている 3/4 以上の出席を単位認定の条件としている。</p>			1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の 50%	2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の 30%	3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の 20%
1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の 50%								
2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の 30%								
3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の 20%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>ピアノ演奏や歌唱のような実技は、一夜漬けで習得できるようなものではなく毎日地道に練習を積み重ねていくことが重要です。必ず、短時間でも構わないので「毎日」ピアノに触れるよう心がけて下さい。短期間で基礎的技術を身に付けるためには、単調な指の訓練も必要となりますが、そうした練習は退屈なものに思われてしまいます。しかし、そうした練習も楽しんで弾くのが「音楽」であり、それを乗り越えた先に真に演奏することの楽しさがあると考えて下さい。</p>								
13. オフィスアワー	初回授業のオリエンテーションにおいて通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション 楽典①：音程 (長・短)	事前学習	「音楽」で練習した曲をすべて復習し、弾けるようにしておく。						
		事後学習	音程 (長・短) の復習をしておく。ピアノ課題曲を弾けるよう個人練習を開始する。						
第 2 回	ピアノ演奏および弾き歌い① 楽典②：音程 (完全)	事前学習	音程 (長・短) について理解しておく。ピアノ課題曲①を弾けるよう毎日練習する。						
		事後学習	音程 (長・短・完全) について復習する。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲①を完成させる。						
第 3 回	ピアノ演奏および弾き歌い② 音程③：音程 (増・減)	事前学習	音程 (長・短・完全) について理解しておく。ピアノ課題曲②を弾けるよう毎日練習する。						
		事後学習	音程 (長・短・完全・増・減) について復習しておく。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲②を完成させる。						
第 4 回	ピアノ演奏および弾き歌い③ 音程に関する小テスト	事前学習	小テストに向けて、音程 (長・短・完全・増・減) について理解しておく。ピアノ課題曲③を弾けるよう毎日練習する。						
		事後学習	小テストで間違えた箇所について復習し、理解を深める。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲③を完成させる。						
第 5 回	ピアノ演奏および弾き歌い④ 楽典④：コードネーム (メジャー・コードとマイナー・コード)	事前学習	音名 (英語) について復習しておく。ピアノ課題曲④を弾けるよう毎日練習する。						
		事後学習	コードネーム (メジャー・コードとマイナー・コード) について復習しておく。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲④						

			を完成させる。
第6回	ピアノ演奏および弾き歌い⑤ 楽典⑤：コードネーム (aug、dim、7th、6th、sus4の各コード)	事前学習	コードネーム (メジャー・コードとマイナー・コード) について理解しておく。ピアノ課題曲⑤を弾けるよう毎日練習する。
		事後学習	コードネーム (aug、dim、7th、6th、sus4の各コード) について復習しておく。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲⑤を完成させる。
第7回	ピアノ演奏および弾き歌い⑥ 楽典⑥：コードネーム (転回形)	事前学習	コードネーム (aug、dim、7th、6th、sus4の各コード) について理解しておく。ピアノ課題曲⑥を弾けるよう毎日練習する。
		事後学習	コードネーム (転回形) について復習しておく。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲⑥を完成させる。
第8回	ピアノ演奏および弾き歌い⑦ コードネームの総復習	事前学習	コードネームについて復習しておく。ピアノ課題曲⑦を弾けるよう毎日練習する。
		事後学習	小テストに向けて、コードネームについて復習しておく。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲⑦を完成させる。
第9回	ピアノ演奏および弾き歌い⑧ コードネームに関する小テスト	事前学習	小テストに向けて、コードネームについて理解しておく。ピアノ課題曲⑧を弾けるよう毎日練習する。
		事後学習	小テストで間違えた箇所について復習し、理解を深める。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲⑧を完成させる。
第10回	ピアノ演奏および弾き歌い⑨ 楽典⑦：主要三和音と属七の和音	事前学習	音階の復習をしておく。ピアノ課題曲⑨を弾けるよう毎日練習する。
		事後学習	主要三和音と属七の和音について復習しておく。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲⑨を完成させる。
第11回	ピアノ演奏および弾き歌い⑩ 楽典⑧：ハ長調・ヘ長調・ト長調・ニ長調のカデンツ	事前学習	主要三和音と属七の和音について、理解しておく。ピアノ課題曲⑩を弾けるよう毎日練習する。
		事後学習	ハ長調・ヘ長調・ト長調・ニ長調のカデンツの復習をしておく。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲⑩を完成させる。
第12回	ピアノ演奏および弾き歌い⑪ 楽典⑨：コードネームによる伴奏付け (伴奏パターン、実践課題1)	事前学習	コードネームおよび各調のカデンツについて復習しておく。ピアノ課題曲⑪を弾けるよう毎日練習する。
		事後学習	コードネームによる伴奏付け課題1に取り組み、完成させる。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲⑪を完成させる。
第13回	ピアノ演奏および弾き歌い⑫ 楽典⑩：コードネームによる伴奏付け (実践課題2)	事前学習	ピアノ課題曲⑫を弾けるよう毎日練習する。
		事後学習	コードネームによる伴奏付け課題2に取り組み、完成させる。授業でのアドバイスを参考にピアノ課題曲⑫を完成させる。
第14回	バイエル (初心者) またはオリジナル伴奏譜による弾き歌い (経験者) の発表	事前学習	事前に指定された曲を発表できるよう毎日練習する。
		事後学習	ピアノ演奏技術向上のため、継続して練習を重ねる。
第15回	弾き歌いの発表	事前学習	事前に指定された弾き歌いの曲を発表できるよう毎日練習する。
		事後学習	「音楽II」の受講に向けて、春休み中も毎日欠かすことなくピアノの練習を継続する。